



第76回日本医学放射線学会総会 —大会運営側から見た印象記—

橋本 順
Hashimoto Jun

第76回日本医学放射線学会（JRS）、第73回日本医学放射線技術学会（JSRT）、第113回日本医学物理学会（JSMP）の3学会合同の総会として、JRC2017は2017年4月13～16日までの4日間、横浜市のみなとみらい地区において開催された（写真1）。会期中は天気にも恵まれ、およそ2万3千人にのぼる多数の参加者があり、盛会であった。この3学会合同の総会は、（一社）日本画像医療システム工業会の展示と併せて（一社）日本ラジオロジー協会が管轄し、毎年この時期に同じ場所で開催される。わたしは来年開催される第77回総会の実行委員長を拝命し、第76回の実行委員会にも昨年から帯同してきたため、今回はいつもの印象記と目先を変えて、大会運営側から見た印象記を書くこととした。

はじめに、1年半の長い期間と膨大な労力をかけて準備された大会の成功について、角谷眞澄会長（写真2）、藤永康成実行委員長、川上 聡プログラム委員長（写真3）を始めとする関係の方々々に心より

お祝いを申し上げたい。大会長と実行委員長は大会前々年の北米放射線学会（RSNA）と前年の欧州放射線会議（ECR（学会組織名はESR））並びに北米放射線学会に参加し、RSNA、ESRを始めとするJRSと提携のある10程度の各国学会の代表者と会合を持ち、JRS総会に派遣をお願いする講演者の調



写真2 角谷眞澄大会長のご挨拶（メインホール）



写真1 会場正面風景



写真3 藤永康成実行委員長と川上聡プログラム委員長（大会本部にて）

整を行う。更に主催校（今回は信州大学）が独自に選定した招待者と併せて多数の外国人による講演が行われ、大変充実した内容であった。数年前より日本医学放射線学会が推進している国際化の成果を垣間見ることができたと感じている。

大会中の企画は3学会合同の企画と各学会内の企画とからなる。合同企画は3つの合同シンポジウムに加えて開会式、閉会式、3つの合同特別講演があり、開会式直後の合同特別講演は元サッカー日本代表の中田英寿氏によるものであった。今大会のメインテーマ“極めよう放射線医学、広げよう放射線診療”に即し、道を極めるということについての興味深いトークショーがメインホールであり、開場は満員の盛況であった。

毎年メインホールが満員になるもう1つの名物企画がイメージインタープリテーションセッションである。今年もGeneral Radiologistをメインテーマに全領域の問題を同じ読影者4名が読影し、その結果を4分割したスクリーンに映して比較するという新しい試みがなされた。選ばれた読影者のこともあり、全員が同じ答えとなって変化に乏しかった点がやや残念ではあったが（それが正解であったのだが）、これまでやり方が決まっていたイメージインタープリテーションセッションの新しい形式を示したことに意義を感じた。来年の開催にあたり大いに参考にさせていただき、更に新しい形式に挑戦してみたいとも思っている。

わたし自身は、大会の学術的な内容を学ぶというよりも運営を見る目的で今大会に出席したため、2階にある大会本部に滞在することが多かった。大会本部室と連続した隣の応接室では頻りに会議が行われていたが、その多くは世界各国の学会の代表者と日医放の代表者との間の今後の提携について話し合う会合であった（写真4）。大会期間中の本部応接室はいわば国際交流の場としての役割を担っていることを実感した。

最終日の午前中には3学会の会長と実行委員長、事務担当者、システム工業会の代表者、日本ラジオロジー協会の担当者などが一堂に会し、JRC2018の実行委員会の立ち上げが行われた。既に昨年秋から何度か会議を持って準備を開始していたが、正式な実行委員会の立ち上げは1年前の大会最終日に例年



写真4 日本医学放射線学会（JRS）と欧州放射線学会（ESR）の代表者会合。大会本部応接室は国際交流の場と化す（前列左がECR2018大会長、その後ろが筆者）



写真5 大会最終日の午前に立ち上げられたJRC2018実行委員会

前列右から錦成郎氏（第74回放射線技術学会会長）、今井裕氏（第77回医学放射線学会会長）、小口宏氏（第115回医学物理学学会会長）、木村達氏（画像医療システム工業会専務理事）、第2列右から6番目が筆者（第77回日本医学放射線学会実行委員長）

どおり行われた。会の終わりに記念撮影を行った際に（写真5）、われわれの大会までいよいよ1年になったかという思いを新たにしたい。これから1年で行うべきことがたくさんあり、はたしてうまくいくのかという一抹の不安は正直言っているものの、実行委員一同今年に負けたくないような学会にするために鋭意準備に勤しんでいる。

JRC2018は2018年4月12～15日までの4日間、例年どおり横浜みなとみらい地区で開催の予定となっている。是非とも多くの方にお越しいただけるよう、お願い申し上げたい。

（東海大学医学部専門診療学系画像診断学）